

河北ウィークリーせんだい

発行●河北新報社

秋恋し 秋保 ぬくもり路 作並

9月に入り、そろそろ秋のレジャーへ思いをはせている人も多いのでは。日帰りよし、泊まってもよし、思い立ったらすぐ行ける近さが魅力の秋保・作

並に今回は注目。新スポット誕生や新たな動きで盛り上がる観光地へ出掛けてみませんか。(よ)

(3・4ページに続く)

恋のお湯かけ地蔵(作並温泉郷)

恋人の聖地巡り

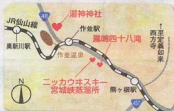
仙台の奥座敷と紹介される温泉地が「恋人の聖地」に選ばれたという。ロマンチックなネーミングが気になって作並温泉郷を訪ねた。

「湯神が守る恋/作並温泉郷」として昨年7月、静岡市のNPO法人から宮城県内では初めて「恋人の聖地」に選定された。鷹泉閣岩松旅館の向かいにある湯神神社もびつりの場所だというので旅館スタッフの村上里佳子さんにそのいわれを聞いた。

「湯神神社は白蛇を祭り、もともとは商売繁盛の神様なんです。縁結びや子宝の神様としても地元の方々から親しまれています。恋人の聖地認定後は、カップルを見掛けることが増えました」

作並エリアには他にも、天女が舞い下りたという伝説のある鳳鳴四十八滝、創業者夫妻による田産ウイスキー造りのロマンの結晶といわれるニッカウヰスキー宮城峡蒸溜所など、「恋」を連想させるハッピーな「いわく」が多いそう。

8月中旬からは湯神神社と作並の5旅館、作並湯の駅ラサントに各1体ずつ計7体*お湯を掛けると願いがかなう。お地蔵さんを設置し、小瓶(5種類各162円)



▲湯神神社の参道脇にたたまむ「恋のお湯かけ地蔵」。台座には「七つの地蔵を巡り 願いを込めて お湯をかけて下さい」とある



岩松旅館スタッフ
村上 里佳子さん

NPO法人地域活性化支援センターが「少子化対策と地域の活性化への貢献」をテーマに展開するプロジェクト。*プロポーズにふさわしいロマンチックなスポット。を全国の観光地から「恋人の聖地」として選定。地域の新たな魅力づくりと非婚化・晩婚化に対するさまざまな取り組みを展開。2014年8月末現在、全国で127カ所が認定されている。

Lover's Sanctuary

恋人の聖地



